

オーストラリアゴールデンレーズン市況

近年、オーストラリアゴールデンレーズンは、干ばつや洪水の影響で収穫量、品質ともに不安定な状況が続いています。2011年に発生した大洪水の影響では、収穫量が通常の半分以下という壊滅的な大減産となり、2012年産においては、乾燥段階の2月～3月にサイクロン(降雨)が襲い、多くのレーズンが再乾燥せざるを得なくなった結果、色調がダークカラーとなる事態が発生いたしました。

2013年産新物に関しては、現在までの果実の生育状況は近年に近く良好との報告を受けています。1月下旬にかけて、オーストラリアでは記録的な猛暑となりましたが、オーストラリアゴールデンレーズンが栽培されているMildura地区においては深刻な影響はなく、順調に生育しているとの事です。しかし、上述の通り近年2月から3月にかけて熱帯性低気圧サイクロンによる大雨が発生した事もあり、収穫が終わるまでは予断を許さない状況です。

このまま順調に天候が推移すれば、2013年産の新物の予想収穫量は前年比約7%増の1万4,500メトリックトン程度との意見も出ています。一方、昨年末から為替が急速に円安に推移しているため、輸入コストは値上げになると思われます。

2013年産の新物は5月中旬頃の入荷を予定していますが、現地の動向・為替状況等に関しましては逐次ご案内差し上げますので、弊社営業担当者までお問い合わせください。

オーストラリアレーズン収穫量推移

(単位:メトリックトン)

年	カレンズ	ゴールデンレーズン	レーズン	サンマスカット他	合計	特記事項
2006	2,700	23,000	1,300	2,000	29,000	
2007	1,800	14,000	900	2,000	18,700	
2008	900	8,400	590	1,500	11,390	干ばつにより減産
2009	2,050	12,500	1,100	1,700	17,350	
2010	1,200	9,400	1,400	2,000	14,000	
2011	1,150	4,150	400	1,800	7,500	洪水により減産
2012	2,100	8,150	700	2,500	13,450	降雨により減産
2013予想					14,500	